

# 出張医学教育FD(上越総合病院)

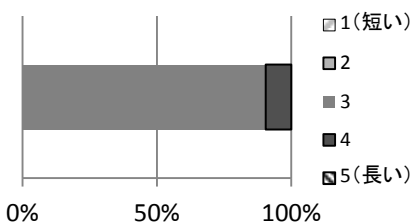
【日時】平成31年 1月22日(火)

【参加人数】40名

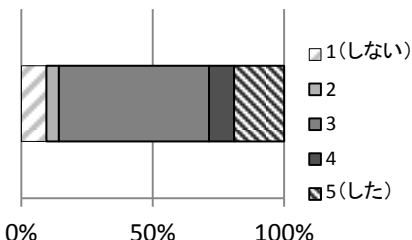
【講師】多田 剛

【内容】アセスメント(評価)の仕方

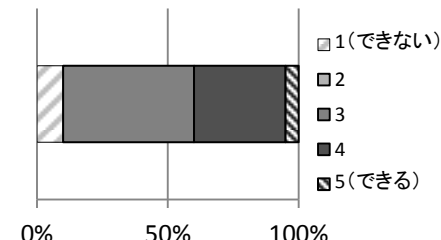
FDの開催時間はいかがでしたか。



FDはニーズにマッチしましたか。



学生の評価ができるようになりますか。



FDで分かったこと	FDで疑問が残ったこと	ご意見
学生実習の目的		
学生実習において評価すること、自分の責任を明確にして課題に取り組むことが大切だと思いました。	安全管理面	
学生教育の現在		学生教育に関して可能なら国試と関係ある事項を伝えてあげたいが、信州大学なりに手技等に関連する国試データとかあると良いかと。 例)採血するとき→第110回国試のここに道具の内容ある、手技の注意ある、副作用等
学生の評価のしかた		
学生さんの出来る事、お願いしても良い事の内容がよくわかりました。	特になし	特になし
信州大学の実習のスタンス	大学では、どのような状況か	
学生をどのように動いてもらえばよいか		
学生に何をさせたいか	学生の行動についての責任のあり方(採血など)	
学生さんへの対応や外来でもしてあげられること。	なし	なし
学生さんは採血・血圧測定も出来る。学び(患者との関わり、Nsの関わり)もしていきたいということ。		
学生さんの実習目的 学生さんのできること(患者との関わり)	外来で具体的にどう対応できるかどうか。現況でよいのか。	
学生に患者と接する機会を増やし、それに対する評価をすることで学生自身の経験になること。		